

調査の概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和3年9月16日～令和3年9月30日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数：386名 回収数：132名 回収率：34.2%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」98.5%、「男性」1.5%であった。
- 年齢は、「40代」が31.1%と最も多く、次いで「50代」25.8%、「30代」22.0%の順であった。
- 居住地区は、「千葉地区」23.5%が最も多く、次いで同率で「東葛地区」「船橋地区」13.6%の順であった。
- ブランク期間は、「0～3年」の72.0%が最も多く、次いで「11年以上」12.1%、「6～10年」6.8%、「4～5年」4.5%の順であった。

2. 離職時の職種、雇用形態、勤務形態

- 離職時の職種は、「看護師」が最も多く86.2%、次いで同率で「助産師」「准看護師」5.2%、「保健師」3.4%の順であった。
- 離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く65.4%、次いで「非常勤職員」29.5%、「派遣」0.8%の順であった。
- 離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く53.8%、次いで「二交代制」26.6%、「三交代制」が12.1%、「短時間勤務」8.3%の順であった。

3. 看護業務の通算勤務年数、離職直前の施設での勤務年数

- 看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く28.0%、次いで「7年～9年」18.9%、「10年～14年」16.7%、「4年～6年」12.9%の順であった。

表1 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
2	11	17	25	22	15	37	3
1.5%	8.3%	12.9%	18.9%	16.7%	11.4%	28.0%	2.3%

- 離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く36.4%、次いで「7～9年」17.4%、「4年～6年」14.4%の順であった。

4. 離職理由

○離職理由は、「出産育児のため」が最も多く 23.5%、次いで「人間関係」21.2%、「健康上の理由」18.2%であった。

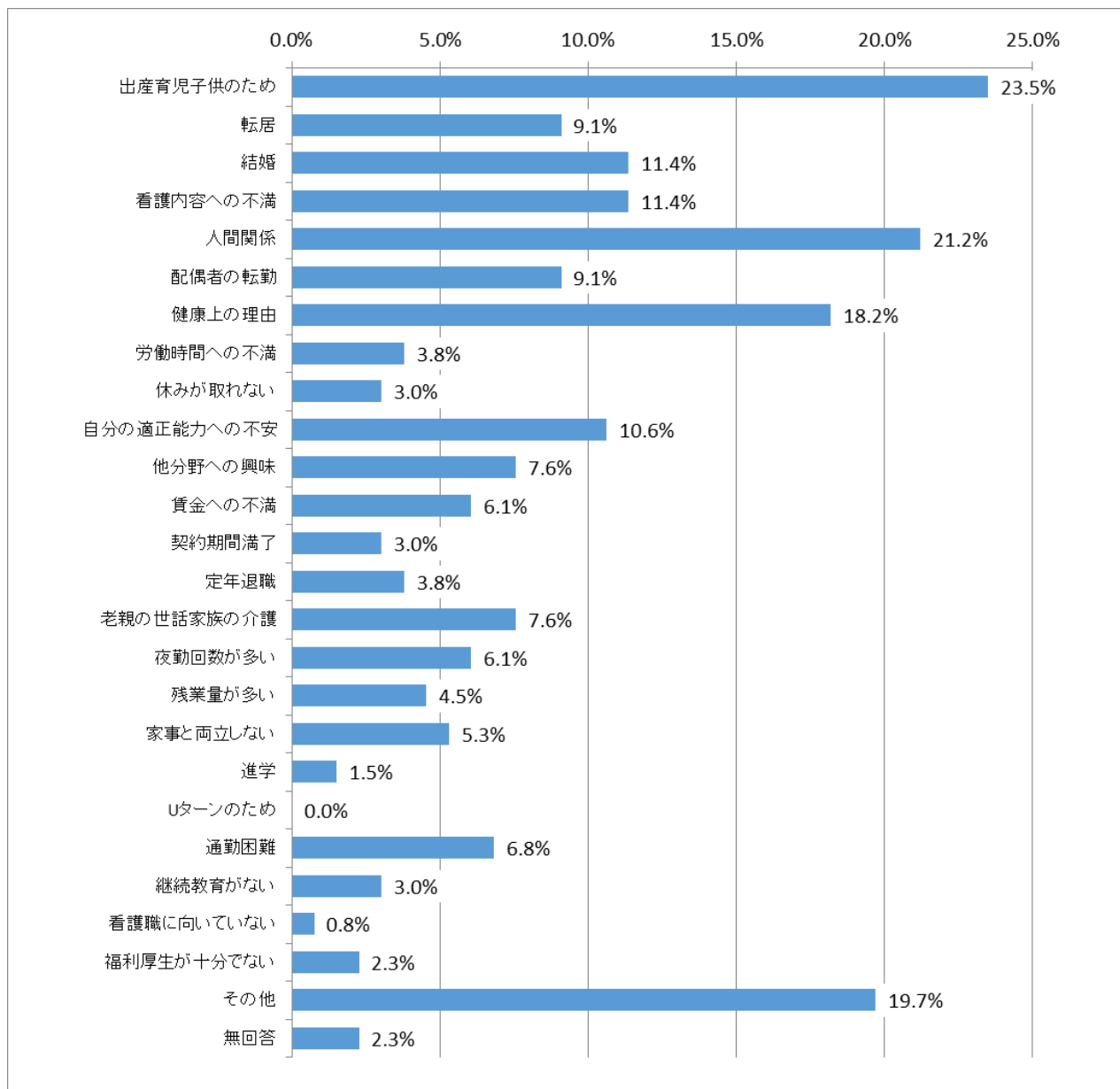


図1 離職理由（複数回答）

5. 人間関係が難しかった相手

○離職理由で「人間関係」を選択した人に人間関係が難しかった相手を尋ねると、同率で「師長等中間管理職」「医師」35.7%、次いで「先輩」32.1%、同率で「同僚」「看護管理者」28.6%であった。

6. 「看護内容への不満」の具体的理由

○離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」80.0%が最も多かった。

7. 就業条件

○就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く 48.5%、次いで「通勤に便利な職場」45.5%、「柔軟な勤務形態の導入」33.3%、「超過勤務が少ない」22.0%の順であった。

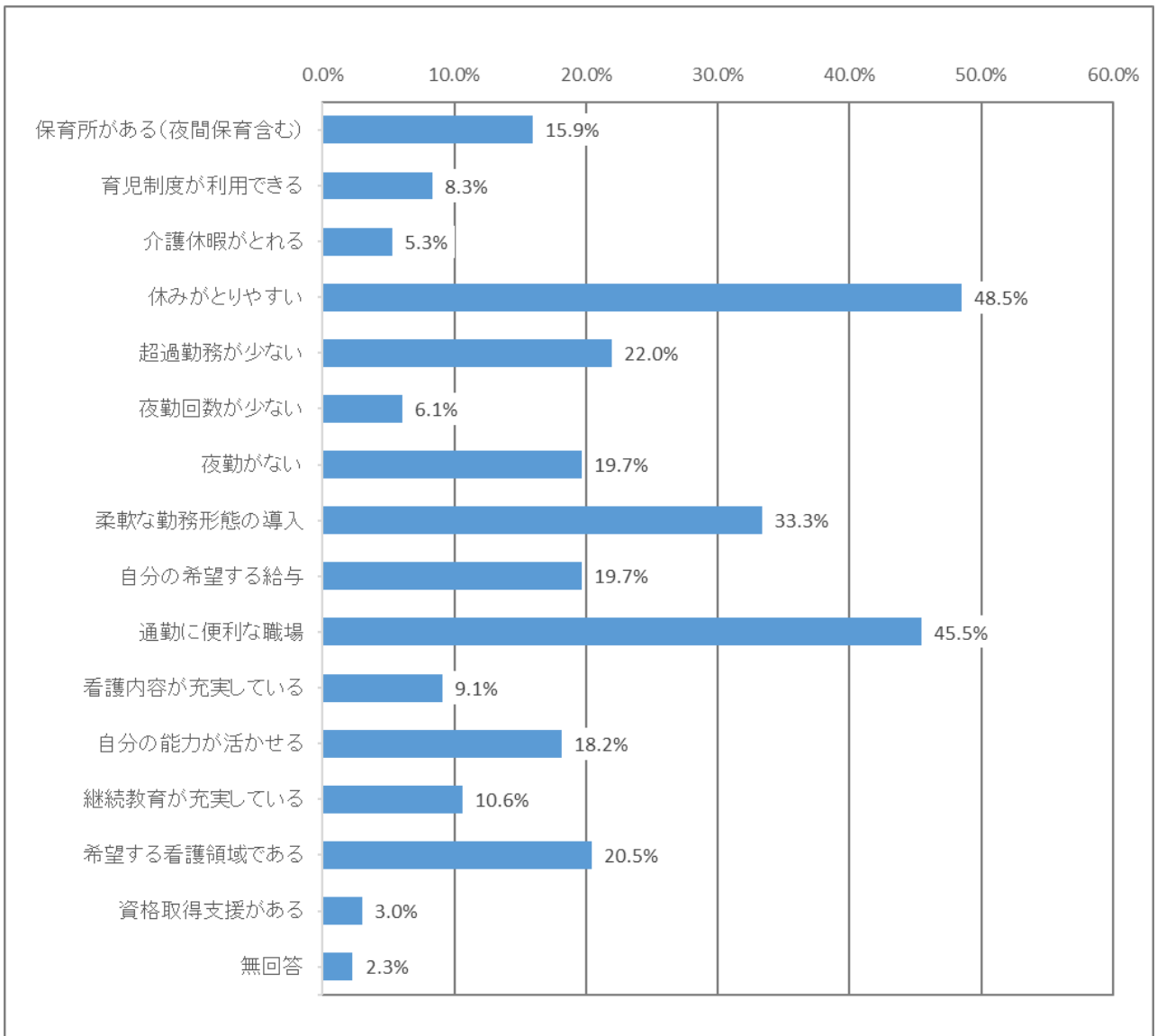


図2 希望の就業条件